



相撲競技栃木県代表選手



ソフトボール競技栃木県代表選手



バドミントン競技栃木県代表選手



選手・大会関係者に配られた大会記念タオルのスローガンは、大田原女子高等学校書道部の荒井千恵理さんが揮毫しました。



ボランティアの皆さま、地域の皆さま、ご協力ありがとうございました



9/13

いつまでもお元気に 敬老のお祝い

9月13日に、今年度100歳以上の敬老祝金対象者のうち、6名の方で自宅などを市長が訪問し、お祝いしました。市からの敬老祝金や記念品のほか、画家の益子 学司氏（実取）から寄贈いただいた肖像画や、増村 英樹氏（南金丸）から寄贈いただいたケイトウの鉢植えなどを贈呈しました。



金子ハツエさん



中津川乃武さん



小室 浪子さん



木村 セツさん



太田 トキノさん



森 トシエさん

9/25

YOSAKOI | 4年ぶりに復活 天狗王国まつり開催



9月25日に栃木県なかがわ水遊園特設会場で、湯津上地区天狗王国まつりが開催されました。

メイン会場では4年ぶりに栃木県最大のよさこいイベント「下野YOSAKOI与一まつり」が行われ、栃木県内のチーム以外にも、関東・東北など遠方から合計27チームが集まり、華麗で力強い演技で観客を魅了しました。

まるごとマルシェやコーヒーピクニックでは、大田原ブランドを始め地元内外の人気店が多数出店し、大勢の人で賑わいました。

9/6

釣り竿づくりの歴史を紹介

本庁舎1階で釣り竿の展示



「水のみやこ大田原 つりの文化・竿の歴史」と題し、アユ釣りが盛んな清流那珂川が流れ、昔から釣り竿作りもおこなわれてきた歴史を知ってもらうため、市内で製造された竿の展示をおこないました。昭和初期のアユ竿や芸術性の高い竿は、収集家の小倉 正敏氏（新富町）からお借りし、最新モデルの竿は、那須ダイワ株式会社 菅谷 英二 社長からお借りしました。ご協力に感謝いたします。

いいとこ撮り



『大田原の紅葉の名所』

投稿者：佐藤 友英（薄葉）

神奈川から栃木に移住し 40 余年になりますが、佐久山の御殿山には 10 年以上紅葉撮影に通っています。

この紅葉祭りの時期には出店があり、焼きそばなどが売られています。行った時には丁度太陽からの日差しがモミジの間から輝いていました。

『みんなのひろば』投稿募集

情報政策課 6階 TEL 0287(23)8700
johou@city.ohatawara.tochigi.jp

●応募方法

Eメールに写真を添付し、本文に次の①～⑥を記入して情報政策課にお送りください。

①コーナー名

- ・我が家の『○○』（家族や自慢のレシピなどの紹介）
- ・いいとこ撮り（市内の風景・イベント写真の紹介）
- ・大田笑人（市内で活躍する個人・団体の紹介）

②写真のタイトル

③コメント（200文字程度）

④氏名とペンネーム（本名掲載を希望の場合は不要）

⑤住所（番地も記入。紙面には大字のみ掲載します。）

⑥電話番号

●注意事項

*原則として受付順に掲載しますが、応募多数の場合は過去に一度も掲載されていない方を優先します。

*掲載回数の上限は1人につき月1回かつ同一年度内3回までとし、2号連続しての掲載は行いません。

*掲載された場合の謝礼はありません。

●掲載できない記事

- ・市の品位、公共性または公益性を損なうおそれがあるもの
- ・政治的、宗教的または選挙活動に当たるもの
- ・営利を目的とするもの
- ・個人、団体を誹謗中傷するもの

※詳しくは、市ホームページをご覧ください。



市史編さんだより vol.25

皆さまは大田原市の特産品と言われて何を思い浮かべますか。豊かな自然環境に恵まれた大田原市では、農産物だけでも「那須の白美人ねぎ」「那須の春香うど」「那須の高原アスパラ」「なすの梨」「栃木三鷹とうがらし」「与一和牛」などさまざまなブランド品が生産されています。

では、こうした市を代表する農作物はいつから作られ始めたのでしょうか。かつての農業は、米や麦作りが中心で、加えて葉煙草の栽培や養蚕などをするという家が多かったかと思えます。そこから、いつどのようにして現在の姿へと変わったのでしょうか。

生産者の方々からお話を伺う中で、農業の転換期として見逃せないのが、いわゆる減反政策の存在です。もちろん、このときに稲から他の作物に転作を進めたのは、大田原市に限らず全国共通の流れです。しかし、どんな作物をどう栽培するかは、その地域の自然条件や社会条件によって異なります。翻せば、なぜその作物を選んだのかを今考え直すことで、大田原という地域の特色が見えてくるのではないかと感じられるのです。

民俗部会では、こうした農業や農村の移り変わりについても郷土の歴史として記録調査を進めています。実体験をお話いただける方がいましたら、ぜひ下記までお知らせください。

（民俗部会 石川 雄也）

文化振興課 TEL 0287(47)5031

民俗部会調査速報⑧
～ブランド品から考える大田原～



選果場での「那須の白美人ねぎ」の皮むき・選別



出荷される「那須の春香うど」